

久我・久我の杜・羽東師地域の
総合的まちづくりの推進に係る
調査報告書

平成22（2010）年3月

伏見区役所

京都大学大学院経済学研究科 岡田知弘研究室

協力：久我、久我の杜、羽東師地域まちづくり協議会

図表 4-30 はこの地域に残された農地の保全に関する意見を尋ねた結果である。近年の宅地開発の進展によって、この地域の農地は急速に減少しつつあるが、回答者の多くは無秩序な宅地開発の進展に対する不満や不安を持っており、「積極的に保全すべき」が 32.1% を占めトップ、「農業を続けている農地だけ残すべき」が 22.5%、以下、「緑地空間として整備すべき」「住民も利用できる市民農園にすべき」と続いた。このうち、「農業を続けている農地だけ残すべき」については、営農者では回答比率が 30% を超えており、宅地開発地域と農地保全地域を明確にすべきという意見も反映されていると考えられる。

一方で、「住宅開発すべき」「工業開発すべき」という積極的な開発を求める意見は合わせても 5% 弱にとどまった。こうした回答結果は、世代、年齢層、地域との関係を見ても顕著な差は見られなかったが、地域への愛着との関係では「愛着がある」と答えた回答者で「積極的に保全すべき」の割合が特に高かった。

図表 4-31 は前表の項目にもあった市民農園について利用の意向があるかについての回答結果である。全体の 3 分の 1 が「参加・利用したい」と回答するなど、農業への興味関心を持つ住民が多いことがうかがえる。

図表 4-30 と図表 4-31 で示された回答結果から、この地域の住民の多くが、残された農地を無秩序な開発から守っていききたいという意向が強いこと、農業に関する関心が高いことが示されたといえる。

図表 4-30 農地保全についてどう思うか

	比率%
積極的に保全すべき	32.1
農業を続けている農地だけ残すべき	22.5
住民も利用できる市民農園にすべき	13.9
緑地空間として整備すべき	15.5
住宅開発すべき	1.6
工業開発すべき	3.0
わからない	11.5

(回答数:1028)

図表 4-31 開設予定の市民農園を利用したいか

	件数	比率%
参加・利用したい	346	33.6
参加・利用したいと思わない	222	21.5
わからない	463	44.9

(回答数:1031)